

3 兵庫県花卉協会との協働によるキクの新品種育成

ねらいと成果

本誌No.158で紹介したように、当センターでは兵庫県花卉協会との共同研究で、結婚式での装飾や家のリビングなどで気軽に楽しんでもらえる、新しいキクの品種開発に取り組んでいる(写真1)。現在、7つの新品種候補が誕生しており(表紙写真)「ひょうごオリジナルギク」としての種苗登録と市場出荷に向けて、特性調査やPR活動を実施してきた。



写真1 これまでに誕生した新品種候補の一例
‘ヒマワリ’をイメージした2系統

内 容

1 多くの人の目による選抜

研究員だけでなく生産者やフラワーデザイナー等花に携わる様々な人の目で新品種を選ぶことで、より市場性が高まることが期待できる。また、生産者への普及も迅速に図られる(写真2)。



写真2 キク育種検討委員と部会員による選抜

2 新ギクのイメージアップとPR活動

従来にないタイプのキクは、消費者へのPRが重要である。県庁農産園芸課と共に、品評会での展示や消費者へのアンケート調査を実施した(写真3)。

2008年10月には華道‘光風流’との共催で「ひょうごの新ギク生ける」をテーマに生け花展を開催し、約500人の来場を得た(写真4、5)。



写真3 消費者へのアンケート調査



写真4 新ギクを使った生け花展



写真5 ウエディングイメージの作品

今後の方針

2010年度には現場で生産し、市場出荷する。同時にブランド化のために種苗登録をする。

山中 正仁(農産園芸部)

(問い合わせ先 電話:0790-47-2425)